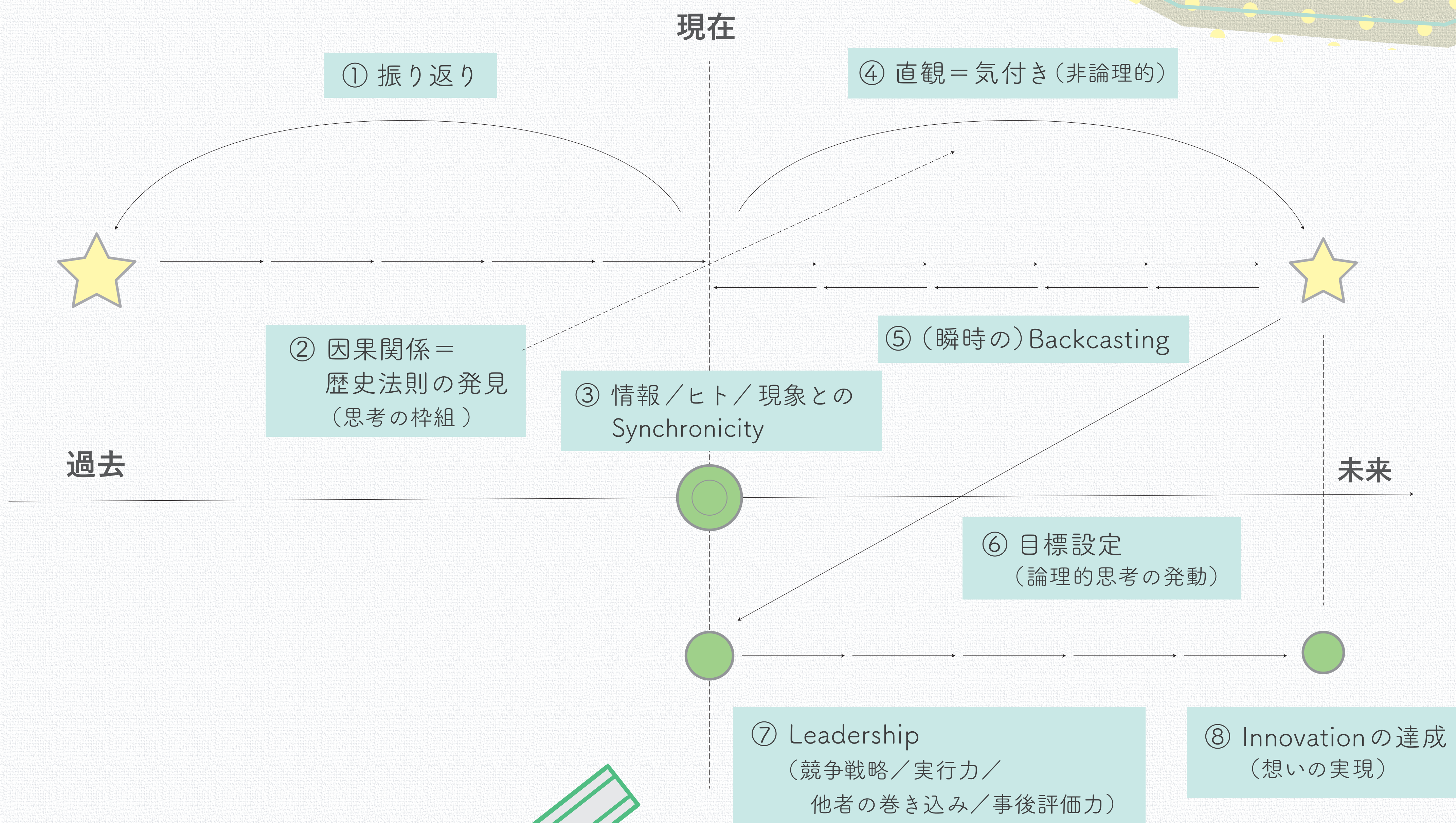




情報リテラシーについて

「類推法」による“情報リテラシー”の全体像

「気付き」を得るには
歴史、規制、地政学、技術への関心、
自らの世界の殻を破ることが必要



① 過去を振り返る

② 歴史的な因果関係(＝思考の枠組)を抽出する

③ 情報(報道・本など)やヒト、事象と出会う(シンクロニシティ)

④ ②と③が合わさることで「気付き」が発現する

⑤ 過去との「フラクタル」(相似象)として未来に生じ得る事象を描く

⑥ 未来までの道のりを因果の連鎖として言語化する＝シナリオ・プランニング

⑦ リーダーシップ：未来シナリオの作成・提示・競合戦略・実行力・
チームメイトからのコミットメント・事後評価力・人間力

⑧ イノベーション：新たな付加価値の創造関係者＋インキュベーターによる



私たちの強み・価値

毎日大量に流れる情報の洪水に飲み込まれることなく

激変する環境と難しい局面を乗り越えるにはどうすればよいのか

——その切り札として当研究所は“情報リテラシー”を提唱しています。

“情報リテラシー”とは情報の洪水から本当に必要なものだけを抽出すること、
そこで得た気付きをベースに“調査分析レポート”を創り、リーダーシップを発揮して
結果として望ましい未来を創り上げることです。

この“情報リテラシー”は定性分析と定量分析を日々アップデート
しながらかけあわせたもので、この手法を実用化し、日々公表して
いるのは我が国では当研究所だけです。

そして、私たちの商品「予測分析シナリオ®」や「マンスリー・レポート」
「デイリー・レポート」「日刊・原田武夫」などを通じてお客様自身が
「気付き」を導き出し、“情報リテラシー”を身につけていただきたい、
それが私たちが提供する価値であり強みなのです。

私たちが提供する価値、強みは“情報リテラシー”
そして、そこからお客様ご自身が導き出す「気付き」です